

(一社)日本詩人クラブ 2024年 9月 例会のご案内

<シンポジウム> 一戦後79年— 詩はどこへ

日時 2024年9月14日(土) 14時~17時

資料代500円(会員・会友も)

会場 今井館聖書講堂

●シンポジウム

「一戦後79年— 詩はどこへ IT時代の今考える詩の未来」

【講師】高山利三郎・原島里枝・遠藤ヒツジ

(司会・秋山公哉)

■プロフィール

高山利三郎(たかやまりさぶろう)

1948年栃木県生まれ。日本詩人クラブ、日本現代詩人会、暮鳥会各会員。茨城県詩人協会、後に茨城県詩人協会会長。詩集『かくれんぼう』(七月堂)、『プロックローの疾走』(書肆青樹社)、『馬』(書肆青樹社)等。文芸誌『青い花』(編集発行)、詩誌『へにあすま』(編集発行)、「TAKEO」(編集発行)。

原島里枝(はらしまりえ)

2006年埼玉詩人会入会。2024年現在、日本詩人クラブ・日本現代詩人会・埼玉詩人会各会員。詩誌『晨』『花』『聲℃』同人。個人詩誌『月の未明』発行人(10号2023/4/15発行にて休刊)。第三詩集『耳に緩む水』(2020年、七月堂)。小詩集『声』(2023年、ライトバース出版)。

遠藤ヒツジ(えんどうひつじ)

1988年東京生まれ。学生時代に近現代詩を研究、卒業論文は『憑依の詩人——吉増剛造論』。2014年頃から執筆と朗読活動を活発化させて、2020年1月~2024年6月までポエトリーリーディングオープンマイクSPIRITを主催した。2020年、詩集『しなる川岸に沿って』(アオサギ)で第34回福田正夫賞受賞。同人「白亜紀」「指名手配」を通じて詩を発表している。

『会場との意見交換』

●《音楽でちょっと一息》 尾崎登(チェロ) / 渋谷真砂子(会員、フルート)

<曲目> ポロネーズ(パッサ)・明日(andre gagnon)・小さい秋みつけた(中田喜直)

●新入会員・会友の詩の朗読

紹介・田中裕子(入会担当理事)

風森さわ(横浜市) / 水野満尋(掛川市) / 柳沼咲子(町田市)

杉野颯二(世田谷区) / 大土由美(北九州市) / 佐々木淑子(鎌倉市)

佐野亜利亜(新宿区) / 吹木文音(宇都宮市) / 疋田あゆみ(浜松市)

* 例会終了後懇親会を行います。

どなたでもご参加ください。

例会・国際交流担当理事

谷口典子(TEL03-6265-7485)

丹羽京子(TEL090-1107-1199)

NPO法人今井館教友会 今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込6-11-15

●JR山手線 駒込駅 南口 徒歩11分

●地下鉄南北線 駒込駅 2番 徒歩8分

●地下鉄都営三田線 千石駅 A4 徒歩5分

六義園をめざしてください。六義公園運動場側です。

